

各位

不織布マスクの正しい着用をお願い

学校法人静理工科大学
星陵中学校・高等学校

静岡県においては、8月19日に新型コロナウイルス感染症の1日あたりの新規感染者数が過去最大の673人となり、その後も日々200人以上の新規感染者の発生が続いております。8月22日から28日までに発生した0～19歳の感染者の割合は、全体の感染者の22%（政令市除く）となっております。引き続き、感染リスクの高い行動を控えるなど、教職員、生徒、保護者など総ぐるみで感染予防策の徹底が必要です。

濃厚接触者の特定において、マスク着用に関し必要な感染予防対策がとられていたかどうかの判断基準が国・県より示されております。このことを踏まえ、不織布マスクの正しい着用をお願いいたします。

マスク着用に関する必要な感染予防策（国・県からの指示）

- 不織布でないマスクは「マスクなし」と判断されます。
- マスクによって鼻や口が隙間なく覆われていなければ、必要な感染対策が取られていないと判断されます。

あなたのマスクの装着方法は大丈夫ですか？



■ マスクやフェイスシールドの効果（スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果）

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50% ^{※2}	80%	90% ^{※2}
吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65% ^{※2}	60-70% ^{※2}	小さな飛沫に対しては効果なし（エアロゾルは防げない）	

※2 豊橋技術科学大学による実験値

表は、豊橋技術科学大学が公表したものです。マスクをしていない人の吐き出し飛沫量を100%とすると、不織布マスクでは20%に減らすこと（80%カット）ができます。続いて布マスク、ウレタンマスクの順で、効果が落ちます。吸い込み飛沫量については、不織布マスクは30%に減らす（70%はカットできる）ことが明らかとなりました。布マスクや、ウレタンマスクでは60%程度までしか減らせません。（40%弱のカット）